

SAGA-LS Web magazine 26

Vol.13, No.1 May 2020

発行：九州シンクロトロン光研究センター



ヒヤーガンサン古墳

Contents

- ・ Essay 「弥生が丘」 遺跡ウォーキング
- ・ 新スタッフの紹介
- ・ 2019年度利用実績
- ・ センター利用者のみなさまへ
- ・ 栄西茶
- ・ 編集後記

「弥生が丘」遺跡ウォーキング！

利用企画課長 村上 保夫



「弥生が丘」の由来・・・

九州シンクロトン光研究センターの最寄駅は「弥生が丘駅」である。
所在地は「佐賀県鳥栖市弥生が丘8丁目7番地」だ。そう「弥生が丘」なのだ。
地名の由来は、土を掘れば、そこら中から弥生時代の遺跡が出てきたからと聞く。この地域は、20～30年前に開発されたようであるが、そのとき発掘された現場の写真が鳥栖市教育委員会のホームページにも数多く掲載されている。今もそうだが、弥生時代の頃から豊かで住みやすい地域だったようだ。

パワースポットの古墳群・・・

昨年7月に大阪府の「仁徳天皇陵」を含む「百舌鳥(もず)・古市(ふるいち)古墳群」がユネスコ(国連教育科学文化機関)の世界文化遺産に登録され、古墳がパワースポットとしてブームのようである。
ネットで「鳥栖市 弥生が丘 古墳」で検索すると、「赤坂古墳」や「剣塚古墳」、「ヒャーガンサン古墳」、「庚申堂塚古墳」、「田代太田古墳」などが出てくる。
当センターが建つこの地はパワースポットのど真ん中といえる。

ウォーキングのすすめ・・・

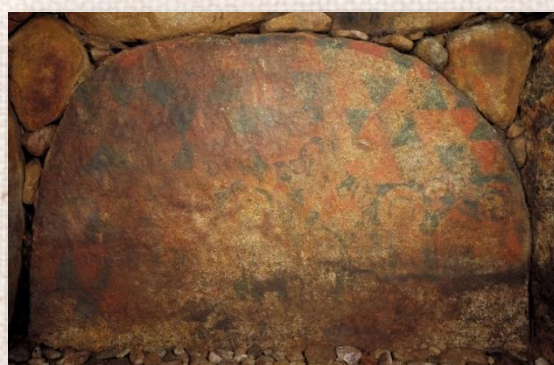
多くの皆様が当センターをご利用されている。しかし、どのくらいの方が、最寄りの「弥生が丘駅」を利用されているのだろうか。特急も快速も停車しないため、きっと「鳥栖駅」で降りて、タクシー又はバスを利用する人が多いだろう。もったいない。「弥生が丘駅」から当センターまで最短で約1.5キロメートルである。ゆっくり歩いても30分。少し回り道をすれば、遺跡や古墳群を散策することができる。
弥生時代の歴史ミステリーを想像しながら、散策するのもなかなかのものである。
天気がよければ、是非、そうしてほしい。
新型コロナウイルス対策の外出自粛により運動不足となった体にちょうどいい。

歴史ミステリー①・・・「邪馬台国」がここに ※フィクション

弥生時代の古墳と聞けば、どうしても期待したくなるのが、「卑弥呼」である。その時代一番の有名人であり、誰もが知る「卑弥呼」が、この地のどこかに眠っているのではないか。そんな素人的な想像をしながら、弥生が丘駅からウォーキングをスタートする。
当時、この土地の人々は、農耕に関する優れた技術を有しており、高度な政治の制度も整っており、とても豊かで平和で安定した生活を送っていた。女王「卑弥呼」が治める「邪馬台国」がこの地あったのだ。しかし、「邪馬台国」を我が物にしようと企む何者かによって謀反が起こされる・・・歴史ミステリーの始まりである。



ヒャーガンサン古墳



田代太田古墳

歴史ミステリー②・・・「卑弥呼」の声 ※フィクション



謀反により女王としての地位を失った「卑弥呼」は、その墓も小型のものとなった。その存在も限られた者しか知らない。そしていつしか忘れ去られてしまった。それから千数百年が経過した夏休み、市内の女子高校生が九州シンクロトン光研究センターにやってきた。インターンシップである。名前は「丘（おか） 弥生（やよい）」。バスケットボール部のマネージャーをやっており、活発で明るい性格である。そんな弥生が、突然、不思議な女性（卑弥呼?）の声が聞こえるようになり、奇妙な事件が次々と起きる。その中で実験一筋の男子学生との出会いがあり……。おっと完全に妄想の世界に入ってしまった。歩くペースも落ちている。歩き始めて、もう1時間を経過してしまった。

休憩・・・柚比本村遺跡にて

ウォーキングも目的地の九州シンクロトン光研究センターまでもう少し。銅剣などの国の重要文化財が出土した柚比本村遺跡の公園で、しばし休憩。近くのコンビニで購入したアイスコーヒーを飲む。ふ～～。

5月ともなると、日差しも強い。空を見上げると、青一色のキャンバスだ。白い雲がアクセントとして描かれている。周りの桜の木々は新緑の衣を風を受けてサワサワと音を立てている。

疲労感が最高に気持ちがいい。なんだか体内にエネルギーのようなものが湧いてくる。

パワースポットの効果だろうか。

あと数百メートルで研究センターに到着だ。

新しい時代を切り開く・・・九州シンクロトン光研究センター

北部九州地方には銅鐸はないと考えられていたが、弥生時代中期末の安永田遺跡で銅鐸の鋳型が発見され、この地で銅鐸が作られていたことが明らかになっている。この地に弥生時代の「ハイテク工場」があったのだ。

それから約1900年の時を経た今、九州シンクロトン光研究センターがこの地に建っている。当センターを利用した様々な研究の成果が、これからの新しい時代を切り開いていくことを期待したい。ただ今日は期待ではなく、そうなることを確信できる。

本日の「弥生が丘」遺跡ウォーキングがそういう気分になしてくれた。



遺跡概要



赤坂古墳(あかさかこふん)

3世紀後半の築造と推定される全長約24mの前方後方墳。九州でも最も古い初現期古墳の一つ。過去に破壊されているようで、死者を埋葬する主体部は未確認。



剣塚古墳(つるぎづかこふん)

全長80m、後円部径45m、前方部の幅60m、高さ7.5mの前方後円墳。周溝は幅が5mもあり、佐賀県内で有数の規模。築造時期は6世紀中頃(約1,400年前)。



田代太田古墳(たしろおおたこふん)

古墳時代後期(約1,450年前)に築造された径約42mの大型古墳。大正15年(1926)に国の史跡に指定された彩色壁画系装飾古墳。



※私有地のため無断立入は不可。



庚申堂塚古墳(こうしんどうづかこふん)

標高50mの丘陵上にある前方後円墳で、頂上に「庚申尊天(こうしんそんてん)」と刻まれた石碑が建つ。6世紀中頃に造られた有力豪族の墳墓と推測される。



安永田遺跡(やすながたいせき)

北部九州地方には銅鐸はないと考えられていたが、昭和54年に銅鐸の鋳型が発見され、弥生時代中期末(約1900年前)にこの地で銅鐸が作られていたことが明らかになる。青銅器の原料を溶かした炉の跡も見つかっている。



ヒヤーガンサン古墳

鳥栖市と基山町の境界近くのハツ並金丸遺跡(やつなみなまらいせき)の丘陵(標高56m)にあった古墳時代後期(約1,450年前)の古墳を現在地(梅坂公園)に移設復元。石室奥壁には赤色の装飾文様が描かれている。



※石室見学は鳥栖市教育委員会に依頼書の提出が必要。



柚比本村遺跡(ゆびほんむらいせき)

弥生時代中期後半(約2,100年前)の甕棺墓から玉で飾った銅剣の鞘(赤漆玉鈿装鞘銅剣:あかうるしぎょくでんそうさやどうけん)と銅剣7本と青銅製把頭飾(剣の柄頭の飾り)2点、後期後半(約1,900年前)の甕棺から鉄剣1本とガラス製勾玉が出土。国の重要文化財。



柚比本村遺跡出土赤漆玉鈿装鞘銅剣(重文)復元模型

New Staff Interview

総務課 課長

石井 正宏



業務内容や今後の抱負などを教えてください。

総務課長として4月からお世話になっています。前職は県職員でした。

総務課の業務は、施設の利用者や所員の皆さんが安心して活動ができる環境を確保し、スムーズなセンター運営を支えることが基本です。皆さんから頼りにされる総務課を目指していきたいと思っています。



趣味や休日の過ごし方などを教えてください。

若い頃は、今に比べると身体もそれなりにシャープでしたので、ソフトボールやバレーボールなど、身体を動かすことに熱中していたこともありました。最近は、家で手近に楽しめる家庭菜園にはまっています。量よりも種類を多く周年で栽培して、いろんな野菜や果物たちを食味することで季節感を感じることも、なかなか良いもんですよ。



業務内容や今後の抱負などを教えてください。

4月から産業利用コーディネーターとして勤務しています。研究畑出身で7年前まで産業技術総合研究所九州センターに勤務していました。専門は「無機材料工学」、「マイクロ空間化学」で、機能性無機材料の創出やマイクロ化学プロセスの開発などを行ってきました。ときおり当シンクロトロン光施設を利用していましたが、今度は施設を利用してもらう立場になります。昔取った杵柄を活かし、「地域産業の高度化」、「新産業の創出」、「科学技術の振興」などのミッションを果たすべく微力を尽くしたいと思っています。宜しくお願いします。



趣味や休日の過ごし方などを教えてください。

実家が窯元でしたので、現在も趣味的に陶芸をしています。芸術的なセンスはあまり無いのですが、自然の木の葉を器に焼き付けた「木の葉天目」や超精巧なホタル焼きの「含珠焼」などを作っています。現在、HPはお休み中ですが、本年中には再開したいと思っています。

産業利用コーディネーター

前田 英明



New Staff Interview

総務課

藤田 加津子



業務内容や今後の抱負などを教えてください。

今年4月から総務課でお世話になっております。主に消耗品の発注や経理業務（施設利用料などの収入事務、旅費などの支出事務）、来客の応対等を担当いたします。まだまだ不慣れな点が多く、みなさまにご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、早く業務を覚えて総務課の戦力になりたいと思っておりますので、温かい目で見守っていただけると幸いです。

趣味や休日の過ごし方などを教えてください。

最近ハマっているものは、空前の大ヒットとなっている日本一優しい鬼退治「鬼滅の刃」（マンガ）です。娘の強い勧めもあって、しぶしぶ読み始めましたが、全17巻（現在20巻）をあっという間に読んでしまうほどはまってしまいました。まだ読んでない方、マンガを読まれない方にもおすすめです。何が面白いかというと・・・それはぜひ読んでみてください（笑）。ちなみに私は単行本でしか読んでないので、ジャンプを読まれている方がいらっしゃいましたらネタバレ厳禁をお願いします。

業務内容や今後の抱負などを教えてください。

今年4月から、利用企画課にてお世話になっております。主な業務は、ユーザーの皆様が当研究センターを利用される際の諸手続き、利用報告書の管理などです。これまで経験したことのない分野の仕事なので、わくわくする気持ちと、不安な気持ちが入り混じりながら、日々業務に取り組んでいます。まだまだ分からないことばかりで周りの皆様にご迷惑をおかけしている毎日ですが、一つ一つ丁寧に仕事をこなしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

趣味や休日の過ごし方などを教えてください。

趣味はショッピングやライブ、カフェに行くことです。今まで鳥栖市にあまり来ることがなかったので、この機会に鳥栖市の色々な場所を開拓していければいいなと思っています。何かおすすめの場所などありましたら教えていただけると嬉しいです。

利用企画課

古賀 加奈子

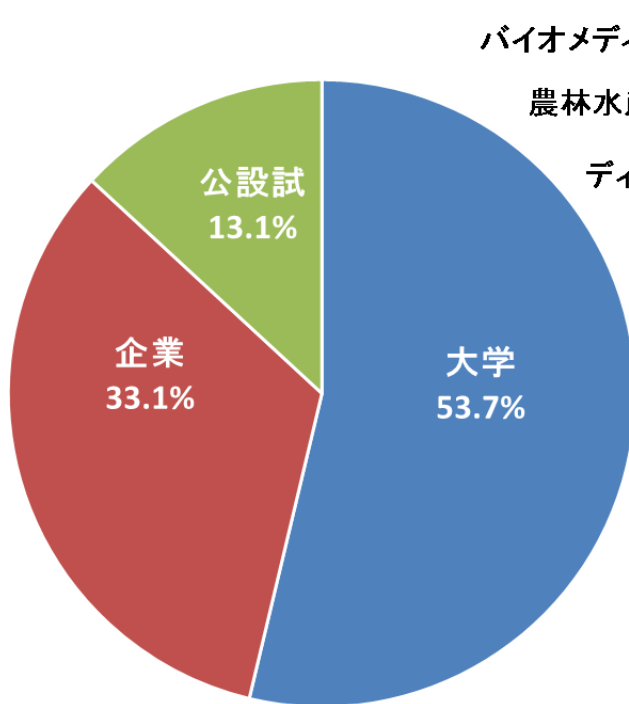


どうぞよろしくお願いいたします。

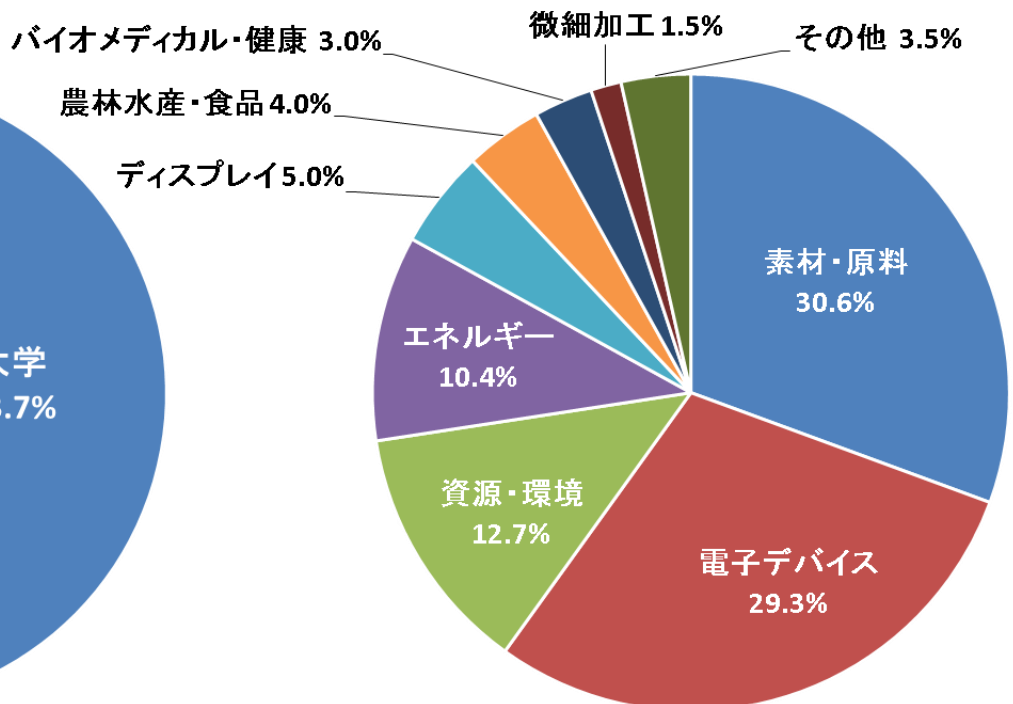
2019年度の利用実績

当センターの県有ビームラインをご利用いただき、ありがとうございました

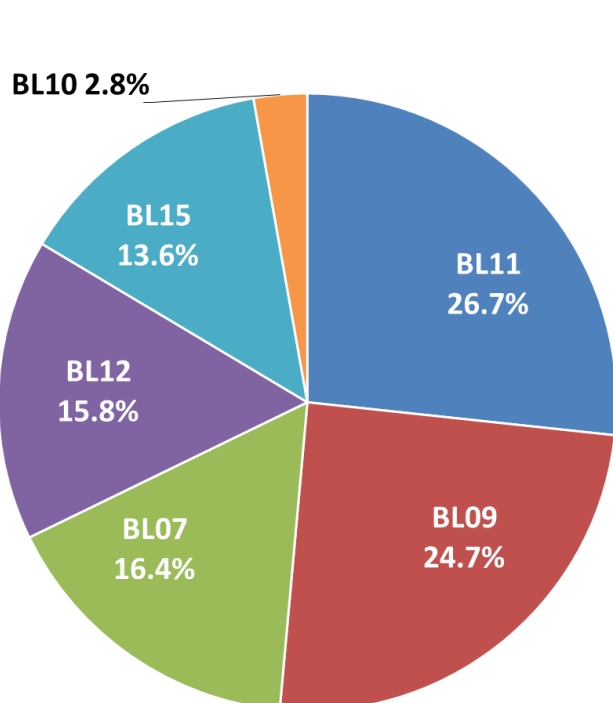
(利用件数: 169件 利用時間数: 3260.0時間)



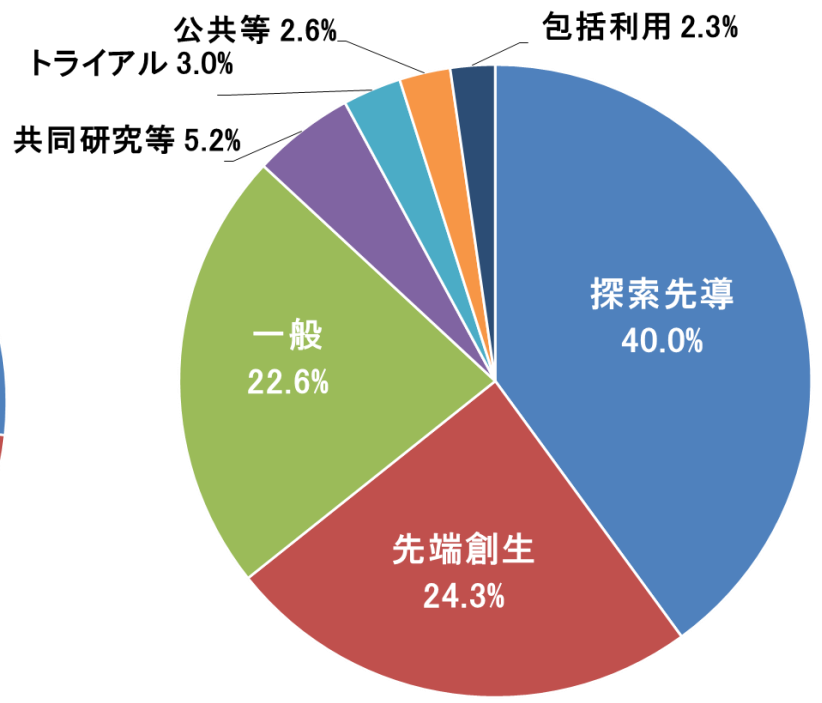
機関別の利用時間の割合



分野別の利用時間の割合



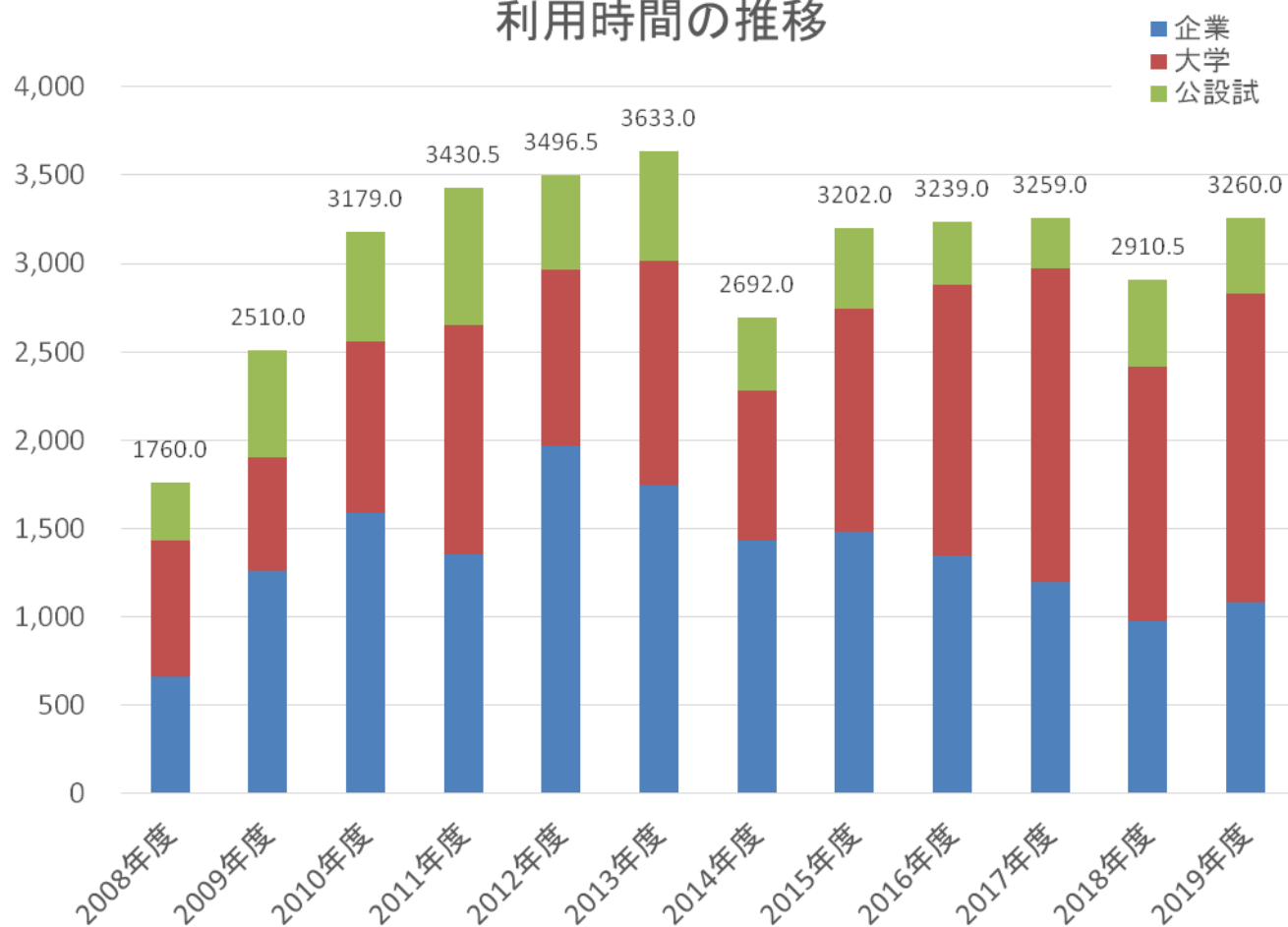
ビームライン別の利用時間の割合



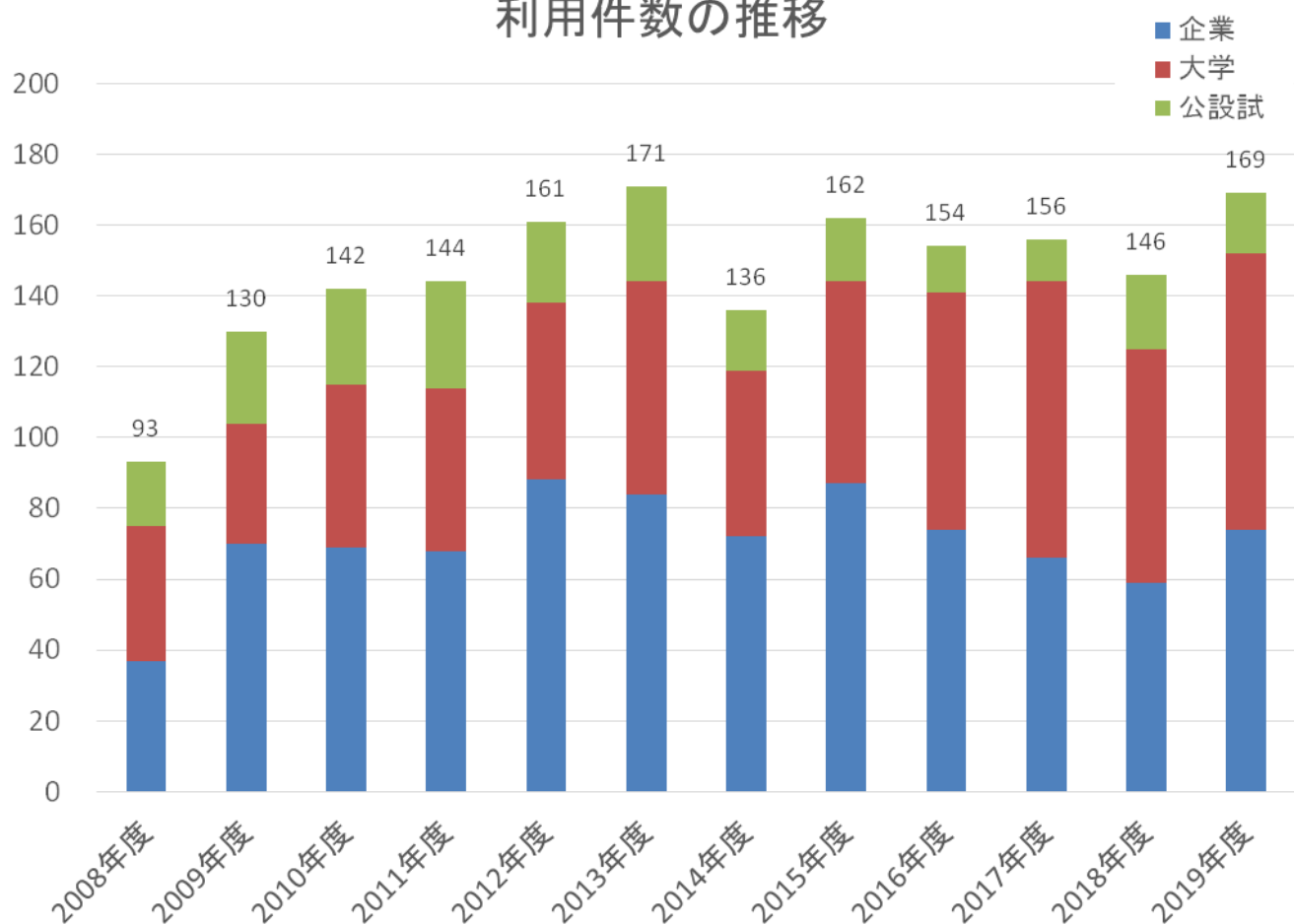
区分別の利用時間の割合

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

利用時間の推移



利用件数の推移



今後もご利用をよろしくお願いします。

新型コロナウイルスへの対応について

佐賀県は政府からの新型コロナ特措法に基づく緊急事態宣言が解除されましたが、新型コロナウイルスによる感染拡大を防ぐため、当センターの利用に際しては、引き続き下記事項に留意のうえ、ご利用ください。

記

1. 発熱や呼吸器症状など、感染が少しでも疑われる場合は、施設の利用をご遠慮ください。
例）風邪や発熱の症状がある方、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方
2. 感染を予防するため、マスクの着用を励行していただくとともに、石けんやアルコール消毒液などによる手洗いの励行をお願いします。
3. 当施設への滞在中に感染が疑われる症状（上記1例示参照）がでた場合は、下記までご連絡ください。

区分	連絡先
平日（8：30～17：15）	センター代表電話 0942-83-5017 総務課（内線131）、利用企画課（内線201）

【佐賀県の新型コロナウイルスの相談窓口】

鳥栖保健福祉事務所（鳥栖市元町1234-1）

電話番号 0942-83-2161、FAX番号 0942-84-1849

対応時間 平日（8：30～17：15）※緊急の場合は夜間・土日も含め時間外でも対応可能

4. 症状が救急の状態でない場合は、施設内の宿泊棟にて休養いただくとともに、新型コロナウイルスに関する相談窓口、または受診可能な医療機関をご紹介します。
5. 本件に関連して、長期滞在を余儀なくされた場合などの諸費用につきましては、各自において負担いただくことを予めご了承ください。
6. 施設を退所された後、14日以内に感染が判明した場合は、速やかに当所までご連絡ください。当施設が行う聞き取り調査等へのご協力をお願いします。
7. 施設利用をキャンセルされる場合は、前日までにご連絡をお願いいたします。キャンセルに伴うキャンセル料は発生しません。
8. 実験で使用された持ち込み器具、サンプル、実験廃棄物等は、確実にお持ち帰りください。持ち込み機器についてご希望があれば、当施設までお問い合わせください。

利用相談のご案内

課題解決のヒントがあります

お気軽にご相談ください！

詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.saga-ls.jp/main/2017.html>



Web会議システム

を導入しました。
利用相談にご利用いただけます。



【お問い合わせ】

九州シンクロtron光研究センター
利用企画課

TEL : 0942-83-5017

Mail : riyou@saga-ls.jp

栄西茶

～日本のお茶はここからはじまった～

霊仙寺前に広がる茶園



霊仙寺へ続く！「筑前街道」

肥前・筑前街道は平安時代末期、平家の重要拠点だった荘園「肥前神埼荘」(吉野ヶ里町)から博多へ通ずる背振山地の山道です。宋からの貿易品や年貢を都に運ぶための重要な街道で、平家全盛の財政的な基盤を築いたといわれています。

(平成8年文化庁「歴史の道100選」に選定)



霊仙寺



「日本最初之茶樹栽培地」

佐賀県の吉野ヶ里町は、約800年前の西暦1191年、臨済宗の開祖「栄西禅師」が、中国の宋から持ち帰った茶樹の種子を脊振山麓の霊仙寺(りょうせんじ)の庭に蒔き、栽培した日本最初の茶栽培地です。

佐賀県と福岡県の県境に連なる脊振山系は、中国の山並みを思わせる眺望の素晴らしさがあり、茶と同じツバキ科であるサザンカの自生北限地帯として知られ、「千石山サザンカ自生北限地帯」として国の天然記念物に指定されています。

栄西は、多くの経典と一緒に薬草として茶を育てようと、宋から持ち帰った大切な茶種を蒔くのにふさわしい場所を探し、この地を選んだといわれています。

栄西茶は、日本最初の茶樹栽培地の歴史を持ち、新緑の頃に朝霧に包まれるという最適の条件の中で育ったものです。



800年の歴史に思いをはせ、お茶を味わってみました。

- 所長： 「おだやかな味ですね～」
「少し濃いめに入れてもおいしいかもしれませんね。」
- 研究員S： 「若々しい。余韻が残るお茶。初めての味わいです。」
- 安全管理室K： 「口に含んだ瞬間独特な香りがしました。それからすぐに口の中がさっぱり、さわやかな感じがしておいしかったです。」
- 利用企画課： 「若葉のみずみずしさがいいですね。さわやかな味ですよ。」
「渋みが少なくてまろやか。」「おいしいです。」
「佐賀といえば嬉野茶が有名だけど、こんなお茶があったんですね！」
「最後に独特な香りとうまみが残ります。」
- 総務課： 「渋味があっっておいしかったです。」（濃いめに入れています。）
「色は薄めでもしっかり味がでてる！しかもまろやか。」
「2回出しても風味と香りがしっかり残ってますね。」

栄西茶

「栄西茶」は宋～明の時代に佐賀に伝えられたとされます。煎茶が普及する前まで九州では釜炒りの緑茶を嗜む習慣がありました。煎茶は、生茶葉を“蒸す”工程がありますが、「釜炒り茶」は、鉄釜で煎りながら作る中国の唐の時代の製茶法です。煎った茶葉はくるっと巻いた細長い三日月形をしています。劣化しにくく、風味が長続きするのも特徴です。急須でじっくり抽出すると、黄金色で澄んだ色をしています。渋みが少なくまろやかで、お茶の香の中に甘さも感じられる、すっきりとした味わいです。

